



# Mus



式後、オペラハウス前に集めた短大卒業生たち(3月25日)

2015年 創立100周年

## CONTENTS

大阪音楽大学が(財)日本高等教育評価機構から「認定」を受ける……………2  
第20回学生オペラ「魔笛」/オペラ・ガラ・コンサートほか……………10・11

■ 学校法人大阪音楽大学理事長に中村副理事長/卒業式ほか ……3  
■ 4月 5月 6月 学校法人大阪音楽大学の催し……………4  
■ オペラハウス開館20周年記念公演/西岡理事ら会見 ……5  
■ 酒井格さんがセンバツ入場行進曲を編曲/教員人事など ……6  
■ 連載「校史点描」<6> 大阪の洋楽事情 ……7  
■ オペラ物知り講座inひこね/はびきの市民大学・聴講記③ ……8  
■ ミュージアム・セミナー&コンサート/ミレニアムホール講座 ……9  
■ 本学との提携4大学に/西村圭市さん 新国立劇場の12期生に ……12

■ 須山知行名誉教授が死去/短大専攻科修了生が学士に ……13  
■ 入試ナビ/高松などで出張レッスン/高校を対象に出張授業 ……14  
■ 09年度大学・短大入試関連スケジュール/09年度入試結果 ……15  
■ 延原武春さんにドイツから勲章/池田有希さん準ミス日本に ……16  
■ 植田恵理子さんが「生徒と遊べ!」出版/コンクール入賞 ほか ……17  
■ 西岡名誉教授とアナビアン講師がテレビ出演/音楽院のひろば ……18  
■ Tutti予告/卒業会後援演奏会/大阪音楽大学後援演奏会 ……19  
■ 短大ポピュラー、ジャズ、ミュージカル各コース演奏会 ……20

# 大阪音大「認定」受ける

## (財)日本高等教育評価機構 08年度の評価結果

大阪音楽大学は08年度(平成20年度)、財団法人日本高等教育評価機構による認証評価の結果、大学機関別認証評価基準を充たしている、として3月24日付けで「認定」との通知を受けました。今回の第三者による認証評価の認定期間は2015年(平成27年)3月31日まで。なお、本学は07年度に短大が「適格」と認定されています。

時代を革新する創造的な音楽の発生地、発信地になること」に改められ、さまざまな情報媒体を用いて広く学内外に周知している。入学者の選抜は、一般入試だけでなく形態の異なる複数の推薦入試を組み入れる工夫により、複数年度にわたり在籍者数を確保。

れている。また、教員の研究やFD (Faculty Development) 活動の支援を担当する「研究事務部門」が設置され、教員の教育活動の支援にあたっている点も評価できる。管理・運営については、理事会、評議員会のいずれも必要な審議・検討の場を十分確保、常任理事会

## 優れた点「建学の精神、施設活用」

学生サービスや就職支援について「大阪音楽大学奨学事業財団」の奨学金制度、08年度から運用を始めた褒賞的奨学制度、就職・進学指導など、学生への支援体制が整備されている。

は年に24回以上開催され、実質的な討議がなされている。月1回開催される「執行部連絡会議」で管理部門と教学部門との相互の連携が図られている。

また、オペラハウス、ミレニアムホールなどの施設・設備が充実。エクステンション・センターが、卒業生を対象に「音楽人材登録」制度を実施、卒業後の新たなキャリア開発のための支援も担っていることを挙げており、改善を要する点は「特になし」でした。



教員数、校地面積、校舎面積についてはいずれも大学の設置基準を十分充たしており、

財務状況は学内外に公開され、支出予算が原則収入予算の枠内で編成されており、収支のバランスを考慮した運営がなされている。

評価報告書の総評によると、建学の精神は分かりやすく平易な現代文で表現。「世界に広がる音楽文化や関連諸領域を遍く研究し、

かつ教員の担当時間も適切で、研究費の支給基準と審査体制も整備され、教員の採用には原則公募を、昇進も明確な審査基準の下に行わ

れられている。特に「ザ・施設とも充実している。特に「ザ・セスもよく、校地面積も広く設備・カレッジ・オペラハウス」は大学

「大阪音楽大学自己評価報告書」は財団法人日本高等教育評価機構のホームページと、本学ホームページにそれぞれ掲載。また、評価の結果は3月25日、文部科学省に報告されました。

するなど、多様な方法で努力している。



### 08年度卒業式

## 「心の栄養」与える人材に

大阪音楽大学と大学院、短期大学の08年度卒業式が3月25日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。式に臨んだのは大学音楽学部254人、音楽専攻科26人、大学院音楽研究科11人、短期大学部音楽科220人、同専攻科23人。中村孝義学長が各代表に卒業、修了証書、学位記を授与、大学最優秀賞、大学、短大の優秀賞などに選ばれた24人・1団体を学長表彰しました。西岡信雄理事長は3月31日付で理事長を辞任、今回が最後の卒業式となりました。

## 新理事長に中村孝義氏

学校法人大阪音楽大学の西岡信雄理事長が3月31日付で辞任、後任の新理事長に中村孝義副理事長・

学長が4月1日付で就任しました。3月17日の理事会で決まりました。新理事長の任期は1年。

### 中村孝義学長 式辞

私たちが日夜、取り組んでいる音楽は、人々の心を癒し、「心の栄養」になるものと確信しています。今日の病んだ社会で一番必要なのは、まさにこの栄養、それを与え

## 08年度最優秀賞・優秀賞決まる

大阪音楽大学と同短期大学部は08年度の大学「最優秀賞」3人と「優秀賞」11人、短大「優

秀賞」9人、それに大学と短大

の「音楽社会活動賞」1人と1

団体の計24人と1団体を選びました。中村孝義学長は3月25日の卒業式で表彰しました。

最優秀賞は中侑子さん(声

楽)、三浦榎子さん(ピアノ)、原田恵美さん(クラリネット)。

3人は10月29日にいずみホールで開催のザ・ローレル・コンサートへの出場資格を得ました。

大学、短大の優秀賞と音楽社会活動賞は次の皆さん。

【優秀賞】大学Ⅱ上羽義信(音楽学)▽川口りな、畠山歩美、水野智絵(以上声楽)▽上平田亜夕、中実怜、前川麻莉恵(以上ピアノ)▽乾奈美、島田香(以

上クラリネット)▽小山亜季(ヴァイオリン)▽佐々木美香(ハ

ープ)▽短大Ⅱ金静実、平野彩香(以上声楽)▽田尻佳祐、中道あずさ(以上ピアノ)▽淡井陽子、西山玲加(以上クラリネット)▽古山晶子(ジャズ・コース

サクソフーン)▽田中彩乃(ミュージカル・コース)▽杉本友樹(電子オルガン・コース)

【音楽社会活動賞】大学Ⅱ菊一旭大(音楽学)▽短大Ⅱヴォイス・オブ・マインド(代表・遠藤真人Ⅱ専攻科ポピュラー・ヴォーカル)

付属音楽幼稚園の第42回卒園式が3月19日に園内ホールで行われました。卒園児は91人。小畑有子園長が「皆さんは4月から小学生。たくさんの冒険の旅が待っています。そのときは勇気をもって挑戦してみてください」とお祝いの言葉を贈りました。

### 音楽幼稚園卒園式 91人元気に巣立つ



付属音楽幼稚園の第42回卒園式が3月19日に園内ホールで行われました。卒園児は91人。小畑有子園長が「皆さんは4月から小学生。たくさんの冒険の旅が待っています。そのときは勇気をもって挑戦してみてください」とお祝いの言葉を贈りました。

## 4月・5月・6月 学校法人 大阪音楽大学の催し

4月11日(土) 17時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 加藤かおり
4月18日(土) 14時	クラリネット五重奏コンサート「鈴木秀美と仲間たちによる珠玉の室内楽」 OH 演奏 ロレツォ・コッポラ 若松夏美 ケーヤ・マルティネーニ 成田寛 鈴木秀美
5月7日(木) 18時30分	一般社会人のためのオペラ講座 大阪音楽大学 講師 中村敬一
5月9日(土) 18時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 永田参男
5月12日(火) 17時	2009年度第1回ミレニアムピアノコンサート MH 演奏 藤井快哉 北野裕司
5月14日(木) 18時30分	一般社会人のためのオペラ講座 大阪音楽大学 講師 中村敬一
5月19日(火) 18時30分	オペラ物知り講座 第5期 第1回 MH 講師 中村敬一
5月21日(木) 18時30分	一般社会人のためのオペラ講座 大阪音楽大学 講師 中村敬一
5月22日(金) 18時30分	畑中良輔特別講座「日本歌曲100年の歩みを辿って」第5回 MH 講師 畑中良輔
5月23日(土) 18時	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第43回定期演奏会 「クラリネットの名手 バスカル・モラゲス氏を迎えて」 OH 指揮 チャン・ユンスン クラリネット バスカル・モラゲス
5月25日(月) 18時	第21回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第一夜) MH 出演 選抜学生
5月26日(火) 18時	第21回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第二夜) MH 出演 選抜学生
5月28日(木) 18時30分	一般社会人のためのオペラ講座 大阪音楽大学 講師 中村敬一
6月4日(木) 17時	2009年度第2回ミレニアムピアノコンサート MH 演奏 北川恵美 末岡智子 植田定和
6月4日(木) 18時30分	一般社会人のためのオペラ講座 OH 講師 中村敬一
6月6日(土) 14時	ミレニアムホール特別講座 第35回レクチャーコンサート MH 講師 日下部吉彦
6月10日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 赤松二郎
6月11日(木) 19時	モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会 Vol.IX OH 演奏 木村直美 西本由香 横田知子 岸本雅美 岡原慎也
6月12日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 藤田隆
6月13日(土) 18時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 田中郷子
6月17日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 藤井快哉
6月19日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 草野道広
6月22日(月) 18時	第22回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第一夜) MH 出演 選抜学生
6月24日(水) 18時	第22回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第二夜) MH 出演 選抜学生
6月24日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 井本英子
6月26日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 さいかくホール 講師 田嶋直士

OH/オペラハウス MH/ミレニアムホール

## 2009年度 ミレニアムピアノコンサート

～ピアノ教員による演奏会～

第1回 5月12日(火)17時 ミレニアムホール 入場無料



藤井快哉



北野裕司

藤井快哉 八村義夫:彼岸花の幻想 ほか

北野裕司 F.ショパン:舟歌 嬰へ長調 作品60 ほか

第2回 6月4日(木)17時 ミレニアムホール 入場無料

北川恵美 末岡智子 植田定和

## ミレニアムホール特別講座

講師 日下部吉彦 14時～16時 ミレニアムホール

第35回 6月6日(土)「弦楽四重奏曲の元祖・ハイドン」

演奏 ヴァイオリン 赤松由夏 景山映子

ヴィオラ 上野亮子 チェロ 山岸孝教

受講料 1000円

\*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。

☎06-6334-2251

## 畑中良輔特別講座

日本歌曲100年の歩みを辿って

講師 畑中良輔 18時30分～20時30分 ミレニアムホール

第5回 5月22日(金)

「戦中より戦後へ」箕作秋吉 清瀬保二 高田三郎

第6回 7月3日(金)

「新しき地平へ」と「新声会(そのI)」清水脩 柴田南雄

第7回 10月23日(金)

「新声会(そのII)」石桁真礼生 別宮貞雄 畑中良輔

第8回 12月18日(金)

「戦後日本の二大作曲家の出現」中田喜直 團伊玖磨

受講料 各回2000円(学生1000円) 通し受講料 7000円

\*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。

☎06-6334-2249

## 古今東西音楽考 その24

18時30分～20時30分 さいかくホール

第1日 6月10日(水) 講師 赤松二郎

第2日 6月12日(金) 講師 藤田隆

第3日 6月17日(水) 講師 藤井快哉

第4日 6月19日(金) 講師 草野道広

第5日 6月24日(水) 講師 井本英子

第6日 6月26日(金) 講師 田嶋直士

受講料 各回1000円 要受講票

\*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。

☎06-6334-2249

## 教員免許状更新講習

## ●必修講習

「教育の最新事情」(12時間) 7月23日(木)・24日(金)

## ●選択講習

「指揮法の基本と実践」(6時間) 6月6日(土)、13日(土)

「合唱指導法」(6時間) 7月28日(火)・29日(水)

「日本伝統音楽」(12時間) 7月25日(土)～27日(月)

「リコーダー指導法」(12時間) 8月2日(日)～4日(火)

受講申し込み期間は4月10日(金)～30日(木)です。大学ホーム

ページから申し込みできます。

《問い合わせ》大阪音楽大学エクステンション・センター ☎06-6334-2442

演奏活動を含めると1046公演で入場者は延べ約38万6千人。オペラハウスは計画から6年の歳月を経て1989年4月オープンしました。用地は大阪空港（伊丹）の航路真下の地面だった、航空騒音で軍艦のような構造になった、周辺は住宅密集地で、正面入り口が現状になった、など「上から、下から、横からと、いろいろ苦労しました」と話しました。

### オペラハウス開館20年 西岡信雄理事長ら会見 建設時「いろいろ苦労」



今年開館20周年を迎えるザ・カレッジ・オペラハウス（館長・本田耕一教授）は2月16日、大阪市内のホテルで会見を開き、09年度の主催公演スケジュール（本号に一部掲載）を発表。西岡信雄理事長（担当理事）があいさつの中で、20年間の公演回数や観客動員数、建設時のエピソードなどを紹介しました。

西岡理事長によると、この20年間でオペラは63企画146公演。

## ザ・カレッジ・オペラハウス開館20周年記念公演



### クラリネット五重奏コンサート

#### 「鈴木秀美と仲間たちによる珠玉の室内楽」

4月18日(土) 14時 指定席

一般3000円 シルバー2000円 小・中・高生1000円

絶妙の弱音と、特別に広い低音域を備えたバセット・クラリネット。モーツァルトのクラリネット五重奏曲は、実はこの楽器を想定して作曲されました。世界でこの楽器を演奏できるのはまだ数人。その一人、ロレンツォ・コッポラ氏がオペラハウスにやってきました。モーツァルトやヴェーバーが耳にした当時の響きを、2種類のヒストリカル・クラリネットで存分に味わってください。

ヒストリカル・クラリネット ロレンツォ・コッポラ  
ヴァイオリン 若松夏美 ゲーヤ・マルティネーニ  
ヴィオラ 成田 寛 チェロ 鈴木秀美

W.A.モーツァルト:クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581  
C.M.v.ヴェーバー:クラリネット五重奏曲 変ロ長調 作品34

#### ■レクチャー「蘇るバセット・クラリネット」

L.コッポラ 鈴木秀美

### ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第43回定期演奏会

#### 「クラリネットの名手 パスカル・モラゲス氏を迎えて」

5月23日(土) 18時 指定席

一般3000円 シルバー2000円 小・中・高生1000円

彼のモーツァルトを聴くためにバリのシャンゼリゼ劇場が満員になった、という伝説のクラリネット奏者、パスカル・モラゲス氏が、ファン待望のモーツァルトの協奏曲を独奏します。そして今年はメンデルスゾーン生誕200年。ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団と管弦楽団が手を携え、開館20周年を祝いメンデルスゾーンの祝祭的な交響曲カンタータ「賛歌」を演奏します。

指揮 チャン・ユンソン 管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団  
合唱指揮 里井宏次 合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団  
クラリネット パスカル・モラゲス

ソプラノI 石橋栄実 ソプラノII 並河寿美 テノール 波多野均  
W.A.モーツァルト:クラリネット協奏曲 イ長調 K.622  
F.メンデルスゾーン:パルトルデイ交響曲カンタータ「賛歌」 作品52  
(交響曲第2番)

## モーツァルトピアノ協奏曲 全曲演奏会 Vol. IX (最終回)

6月11日(木) 19時 一般3000円 大学生・シルバー2000円 小・中・高校生1000円

本学創立90周年の2005年に始まったモーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会。毎回、本学教員の個性豊かな演奏を通じて、モーツァルトの成長と軌跡をたどってきたが、今回でいよいよ完結します。最後を飾るのは本企画の発案者でもある岡原慎也教授。ソリストとしてはもちろん室内楽やドイツ歌曲のパートナーとして、世界的に活躍する岡原教授らの珠玉のモーツァルトをお楽しみください。

指揮 小田野宏之 管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団  
W.A.モーツァルト:3台のピアノのための協奏曲 第7番 へ長調 K.242 ピアノ 木村直美 西本由香 横田知子  
ピアノ協奏曲 第14番 変ホ長調 K.499 ピアノ 岸本雅美  
ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595 ピアノ 岡原慎也

◆オペラハウス公演のチケットのお申し込みは、鑑賞会員の方は電話で、その他の方および整理券ご希望の方は、はがきかFAXでコンサート・センターへ。ホームページからお申し込みいただけます。<http://daion.ac.jp> 上記の演奏会では乳幼児、未就学児童のご入場をお断りしております。  
[大阪音楽大学コンサート・センター] 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 ☎06-6334-2242 FAX06-6334-2164

## 大阪音楽大学 カレッジ・オペラ講座 2009 受講生募集

### 【高校生のためのオペラ講座】

楽譜の読み方から身体表現まで歌と演技の集中講座。

2日間で君にもオペラが歌える!

第1日 8月22日(土) 11時~15時

第2日 8月23日(日) 11時~17時

講師 ●声楽・言語指導 荒田祐子 田中由也

●演出 中村敬一

●コレペティートル 矢崎真理 西尾麻貴

●指揮 加藤完二

受講料10,000円 定員30人

### 【一般社会人のためのオペラ講座】

アリアとアンサンブルの2コースをご用意しました。オペラハウスの舞台上で歌い演じてみませんか。

5月7、14、21、28日 6月4日 毎回木曜日

18時30分~20時30分(6月4日のみ18時~21時)

◇私が主役~アリアを歌うコース

◇ステージでドラマを~アンサンブルを楽しむコース

講師 ●声楽・言語指導 安藝榮子 福島慶子 川上蕎子

●演出 中村敬一

●コレペティートル 下村沙織 福田容子 矢崎真理 梁川夏子 ●指揮 加藤完二

受講料20,000円 定員40人

### 【オペラ物知り講座】

オペラ歌手の生演奏と演出家による解説の二本立て。これであなかも「オペラ通」です。

テーマ 「この人でこのオペラ!」

講師 中村敬一

各回18時30分~20時30分

ミレニアムホール

第1回 5月19日(火) 高嶋優羽

第2回 7月21日(火) 荒田祐子

第3回 10月27日(火) 晴雅彦

第4回 2010年3月9日(火) 石橋栄実  
受講料1,000円 4回一括3500円

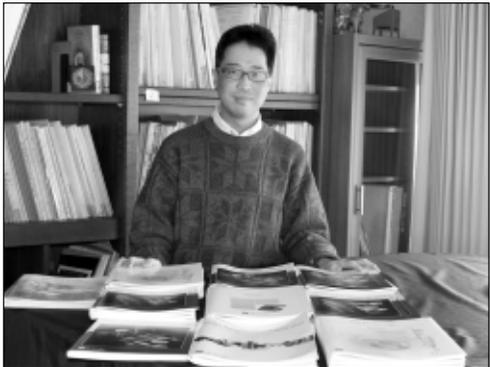
〈申し込み・問い合わせ〉エクステンション・センター「カレッジ・オペラ講座係」 ☎06-6334-2251 FAX06-6334-2542

兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で3月21日から熱戦が繰り広げられている第81回選抜高校野球大会（毎日新聞社、日本高校野球連盟主催）。今年の入場行進曲は、男性4人のヴォーカルグループ「GreenZ（グリーン）」の「キセキ」で、編曲を担当したのが作曲家の酒井格さん（96年院修作曲）＝写真。「若いけれど、腕は確か」。22年間入場行進曲の編曲を続けてきた元大阪府音楽団長の永野慶作さんが酒井さんをこう評したそうです。

# センバツ入場行進曲「キセキ」を編曲

合唱団に入っていた母親の影響を受けた酒井さんは、5歳からピアノを始め、満足に字の書けない時から作曲を覚え、6歳で最初のピアノ作品を作りました。高校で吹奏楽部に入り、フルートとピッコロを担当。3年生の秋に吹奏楽曲「たなばた」を作曲。5年後の94年にオランダのデ・ハスケ社から出版され、世に出ました。「携帯電話でダウンロードされるのを含め、演奏回数がずば抜けて多いのが『たなばた』です。17歳の時に書いた曲が代表作というのを喜ぶべきか、悲しむべきか……」

**酒井 格さん** 96年院修作曲



「若いが腕は確か」

高校卒業後、理工系か文系か、しばらく進路で迷っていました。89年の秋、ふと思い立ち、大阪から列車に乗って岐阜県・大垣市まで行き、そこから夜行列車で全日本吹奏楽コンクールが開かれる東

京へ。会場で中学生や高校生らのすばらしい演奏を聴いて感動。「音楽こそ自分の進むべき道ではないか」

早速、自宅向かいに住んでいた大阪音大の卒業生に相談、約3カ月間かけて準備し本学に入学。大卒では田中邦彦教授（04年に退職）、千原英喜講師に師事、大学院でも田中教授に師事し、院1から付属

音楽学園（現付属音楽院）の講師を務めました。

97年の大阪「なみはや国体」に、式典音楽のスタッフで参加し、2曲のファンファーレを作曲しました。また、奈良県吹奏楽連盟創立

40周年、同50周年記念の委嘱作品などプロの吹奏楽団からアマチュアのパンドまで数多くの委嘱を手がけ、これまでに作曲したのは100曲を超え、このうち二十数曲が出版されています。

永野さんとの出会いは、99年に奈良県吹奏楽連盟の40周年記念パティで同席した時です。その縁で大阪市音楽団の委嘱作品も手がけ、「私を覚えていてくれたのでしよう」と酒井さん。

編曲の依頼は昨秋、毎日新聞社から酒井さんの携帯電話にかかり、2月3日に高槻市の高槻現代劇場で大阪市音楽団が入場行進曲を演奏、録音しました。酒井さんは「原曲のイメージを壊さないように」とプレッシャーばかり感じていると書けなくなるので、自分なりの行進曲に仕立て、「これなら私も楽しく歩けそう」という感じで書いていこうと思っています」と抱負を述べていました。

## 短大で09年度からも 中学校教員免許取得

大阪音楽大学短期大学部は09年度からも引き続き中学校の教員免許を取得できるようにしました。これは09年4月から短大を従来の「1学科4専攻」を「1学科11コース」に改組したことに伴い、大阪音楽大学短期大学部は文部科学省に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請書」を提出していました。

このほど課程認定が内定し、3月末に正式通知がありました。それによると、短大音楽科で、取得できる免許の種類は中学校教諭二種免許状（音楽）です。

大阪音楽大学教員人事（4月1日付）

- 名誉教授 高橋浩子（音楽学）、阪上和夫（声楽）
- 教授 中山喜満（外国語）、住谷秀夫（一般教育）、谷口真生子（外国語）、永田孝信（作曲）、荒田祐子（声楽）、油井美加子（ピアノ）
- ≪いづれも准教授≧准教授 長谷川慶岳（ソルフェージュ）
- ≪講師
- 客員教授 宗倫匡（ヴァイオリン）
- ≪08年度特任教授
- 准教授 福楽宏之（ポピュラー・ベース）
- ▽助教 石橋栄実（声楽）、西村理（音楽学）
- ≪新採用
- 09年度役職者（4月1日付）
- 自己点検・評価部長 松本昌敏
- 准教授 ≪新任

大阪音楽学校が1915年(大正4年)10月に開学する直前の5月、永井幸次は大阪の洋楽事情について大阪朝日新聞の記者に語っています。それによると、明治末期から大正初期にかけてのいつときヴァイオリンが流行。やがて下火になりかけたところから、ピアノがやはり始め、大阪市内のピアノ台数が急増しました。それでも、東京に大きく遅れを取っていたという大阪の洋楽普及。今回はその様子を紹介します。(文中敬称略)

# 校史点描

<6>

創立百周年に向けて

年(明治42年)1月12日付の大阪朝日新聞に載っています。概要は今、大阪の家庭で箏曲が流行。一方でヴァイオリンもやはり、箏と共に嫁入り道具の一つに数えられています。ヴァイオリンの代表的な師匠は甲賀夢仙です。苦心を重ねて大阪のヴァイオリン界を開拓した甲賀は1888年(明治21年)に大阪鎮台(後の第四師団)に音楽隊が設けられた時、東京の陸軍教導団付属軍楽隊から大阪に赴任しました。

この軍楽隊から洋楽が広まり、

手風琴(アコーディオン)が流行。やがてヴァイオリンがその地位を奪いました。が、もう一つ伸び悩んだことから甲賀は家庭的に絞って、箏曲や三味線の邦楽曲でヴァイオリンを教えました。また、一

## ピアノ増えた大正初期

### 大阪の洋楽事情

般家庭と調和させるため、ヴァイオリンを座って演奏させました。

稽古は12、13歳の少女には唱歌から行進曲へ。だんだん進むと大阪市歌や長唄の安宅の松など。箏曲や三味線と合奏するのに便利というので、「甲賀式」に倣ってヴァイオリンを教える人が増えました。

ところが、大阪音楽学校が開校する頃にはヴァイオリン熱も下火に。15年5月12日付の同紙に永井は盛衰の理由をこう述べています。

流行したのは楽器が比較的手軽で便利なのと、値段が安いこと、また、箏や三味線に合わせ易いからでした。しかし、大抵の人が一

明治39年ごろのヴァイオリン演奏風景



### ヴァイオリンは下火に

時の娯楽に弾くというふうで、規則正しくやらないから、本当のヴァイオリンの音色が生まれません。規則正しくするには正しい姿勢をつくるだけでも、3年はかかります。この苦しみをしのいでまで練習しようとは志す人は少ないので、大阪のヴァイオリン熱も今ではすっかりさめてしまいました。

一方、13年(大正2年)4月19日付の大阪毎日新聞には大阪府立の高等女学校を楽器で色分けした次のような記事が掲載されています。清水谷(現在の清水谷高校)はピアノ、夕陽丘(同、夕陽丘高校)はヴァイオリン、梅田(同、大手前高校)はオルガンというのが特徴。女学生がピアノを買う際、かつては教師と父母を楽器店に連れていきましたが、最近では電話で注文するようにもなりました。「これは

楽器店の信用と音楽通が多くなった証拠です」とは店主の話。

ピアノの数は大阪市の各学校に約百台、個人の家庭に約2百台の計約3百台はある、とみられ、3年前に比べると大変な増加だ、と伝えていきます。中には妻のためにドイト・ホイリッヒ製ピアノ(対価750円≒米10<sup>キ</sup>で2円弱の時代)を買う人もいました。

永井はピアノについても述べています(15年5月13日付の大阪朝日新聞)。ヴァイオリンがやや下火になりかけたところからピアノが流行し始めました。高価な楽器で、330円は出さなければなりません。この4、5年中に大阪市に入ったピアノは数百台になるといいます。楽器が大相なだけに練習する人も比較的熱心で真面目に勉強しますから、順序良く発達している様子です。娘に洋楽をやらせる家庭は東区内に多いようです。東区辺は他区に比べると富裕な家庭が多いからでしょう(以下略)。

永井は4日後の17日付の同紙では、声楽についても語り、その中で「大阪は西洋音楽の発達が著しく遅れ、東京に比べ17、18年は遅れています。神戸は外国人がたくさんいるため大阪より進んでいます、京都となると大阪以下です」と嘆いています。

オペラ物知り講座の第2回出張講座が1月25日、滋賀県彦根市のひこね市文化プラザで行われました。この出張講座は湖東地域を中心に活動しているアンサンブルグループ「アイネ・クライネ・ロー



## オペラ物知り講座 inひこね

お話 中村 敬一 講師



### 「椿姫」の裏側に迫る



テ・ポリーネ」(代表・飯川弓恵さん)の呼びかけで08年に始まりました。2回目の今回はヴェルディの名作「椿姫」。子どもから年配の方まで、幅広い年齢層の方が詰めかけ会場は満席。中村敬一講師のお話と歌を交え、悲劇の裏側に迫りま

した。

「椿姫」には原作があります。デュマ・フィスが書いた小説「椿を愛した女」がそれです。19世紀になってヴェルディがオペラに仕立てましたが、タイトルは「道を踏み外した女性」。主人公もヴィオレッタ、つまりスミレちゃんに変わっています。

ヴィオレッタの職業は高級娼婦。美人で教養もあり社交界の花形でした。貴族の男性と東の間の結婚

#### 出演者

ソプラノ・田邊織恵さん	(00年・院修)
テノール・神田裕史さん	(90年・大卒)
バリトン・時宗務さん	(03年・院修)
メゾ・ソプラノ・林育子さん	(京都市立芸大卒)
ピアノ・矢崎真理さん	(95年・院修)
ピアノ・飯川弓恵さん	(88年・大卒)

をし貴族の称号を手に入れますが死後が悲惨。丘の上に立てられた墓石には貴族の称号がなくなっていました。天国に貴族の称号を持つて行けなかったんですね。

実話に基づいて書かれたこの悲しいこの物語。田邊織恵さんたちは第1幕の「乾杯の歌」をはじめ「花から花へ」「天使のように清らかな娘を」「奥様―どうしたの?」など、各幕のアリアとアンサンブルをたっぷり聴かせてくれました。

## 楽譜の登場が音楽を変えた

9世紀ごろヨーロッパに登場した楽譜は、オタマジャクシではなく、四角形が数珠つなぎになる記号「ネウマ」を使つたもので「ネウマ譜」と呼ばれていました。音の長さを表記しないシンプルなものでしたが、この楽譜のおかげで、遠く離れたところ

ろにいても一つの歌を同じ様に歌うことができるとなりました。

### はびきの市民大学・聴講記 ③ 西洋音楽史(講師・白石知雄)



#### 合唱の喜び、ハーモニーの発見

楽譜の恩恵を最も強く受けたのがローマ・カトリック教会のグレゴリオ聖歌。それまでは歌い手の記憶に頼っていたため、歌う人によってメロディーが変わることもありました。楽譜に書き留めることによって、民謡保存会的にメロディーや歌詞を統一することができたわけです。楽譜は当時の音楽にとってまさにハイテク導入、画期的な出来事だったんですね。

ピタゴラスの音階理論や楽譜を手にした中世ヨーロッパの人たち

は、やがて音に「高さ」があることを発見。二つ以上のメロディーを同時に演奏する多声音楽(合唱音楽)を見出します。

また、教会の典礼で歌われていたグレゴリオ聖歌は、単旋律で起伏の少ない単調な歌でしたが、音の「高さ」を発見したことによって、聖歌のメロディーに即興的なハモリを加える人が出てきました。パリのノートル・ダム寺院には修道士が残したハーモニーの記録が残っています。12世紀中ごろにレオニヌスという人がハモった復活祭の「アレレヤ」によるオルガナムは特に有名です。

楽譜が普及し、人々が自由に歌を歌えるようになると、今度は聖歌の「替え歌」が登場します。新たに思いついた歌詞をつけて歌ったり(トロップス)、独自のメロディー(セクエンティア)をつくりたりする人が現れます。中世には数百の新作、替え歌が存在していましたが、グレゴリオ聖歌といえは古来から歌い継がれてきた伝統ある歌。ローマ・カトリック教会が許すはずありません。後にローマ・カトリック教会では有名な4曲を除いて、すべての替え歌を使用禁止にしました。

## 時空を超えて…

### スーパー リコーダー カルテット

お話 藤田 隆教授

藤田隆教授、秋山滋講師ら個性あふれる4人が豊かな音色でリコーダーの世界を演出します。曲は後期バロック音楽を代表するG.Ph.テレマンの「協奏曲 へ長調」をはじめA.チャールトン「空想の花束」、中西覚のリコーダー四重奏曲「祭り」、ダニー・ボーイでお馴染みのアイルランド民謡「ロンドンデリー・エア」など11曲。4人はクライネソプラニーノからコントラバスまで10種のリコーダーを使い分け、スーパーサウンドを聞かせてくれました。



大阪万博のときにはドイツの作曲家、シュトックハウゼンが一人を引き連れて来日し、リコーダー奏者のミハエル・フェターが現代音楽を演奏したことがあります。当時、リコーダーが前衛音楽の演奏に使われたことは大変な驚きでした。これを機にこの楽器が一気に注目を浴び、日本でも多くの作曲家がリコーダーのための曲を作るようになります。

お話は藤田教授。エピソードを交えながら、時には笑いを誘いコンサートを盛り上げてくれました。

## 伝統芸能団「プンツォ・ダヤン」を迎えて 「ブータンの仮面劇」

お話 西岡 信雄名誉教授

27回目のセミナーは、独自の伝統文化を育んできたブータン王国の民族芸能。デンゴ団長率いる12人の伝統芸能団「プンツォ・ダヤン」の皆さんがこれまでバールに包まれていた歌や踊りを披露してくれました。

「ブータンはインドや中国という大国に囲まれながら、ついこの間まで鎖国を守りつづけてきた仏教王国です」と西岡信雄名誉教授。



特設ステージでは、ユネスコの無形文化遺産に指定された勇壮な仮面舞踊「ダムツェ・ンガ・チャム」をはじめ、近年まで僧侶以外は踊ることができなかった悪魔退治を表現した宗教舞踊「ツァンカビ・チャム」、振り



付けが日本の盆踊りそっくりの「ベダ」などを披露。カラフルな衣装が宙を舞い、のどかな歌声が会場に響きます。最後は人々の再会と幸運を祈る踊り「タシ・レベ」。受講者も輪の中に入り、友好を深めていました。

## ミレニアムホール特別講座

19世紀のロマン派時代に活躍した作曲家、メンデルスゾーンが果たした功績は3つあります。1つは、バッハの「マタイ受難曲」を100年ぶりに再演し、時代遅れとされていた彼の名を復活させたこと。2つ目はライブツィヒ音楽院やゲヴァントハウス管弦楽団の本拠となるコンサートホールをつくり、教育者として名を残したこと。3つ目は生涯に50曲を超える合唱曲を書き、シューマンらとともに再び合唱の花を咲かせたことです。温かい家庭の中から生まれた、かわいくて愛らしい作品をたくさん残してくれました。

お金持ちで才能にも恵まれたメンデルスゾーンですが、本当に幸せな

### メンデルスゾーン生誕200年 講師 日下部 吉彦



2月28日 ミレニアムホール



生涯を送ったのでしょうか。彼はユダヤ系ドイツ人。ドイツではユダヤ人に対する迫害が強く、偏見、迫害の歴史は延々と続きます。彼も心のどこかにストレスを感じていたのではな

いか。彼の温かい音楽を聞いていると、どこか陰があるように思えてなりません。

メンデルスゾーンは1847年に38歳でなくなります。原因不明の突然の死。「疲れた、本当に疲れた」。これが最期の言葉でした。

♪

第一部は富岡順子さんがピアノ独奏「春の歌」、高森真貴子さんがヴァイオリン協奏曲を演奏。第2部は合唱特集。ソプラノ・杉浦希未さん、アルト・増淵弥生さん、テノール・田中良和さん、バリトンの福嶋勲さんがア・カペラでハーモニーの美しさ、掛け合いの楽しさを披露。満席の受講生を楽しませてくれました。



## 第20回大阪音楽大学学生オペラ

# 魔

# 笛



## 総力結集 豪華キャスト

大阪音楽大学学生オペラが2月21、23日にザ・カレッジ・オペラハウスで上演されました。20回目の今年はW.A.モーツァルトが最晩年に書いた最高傑作「魔笛」(全2幕・原語上演)。演出は中村敬一講師、指揮は小田野宏之特任教授。オーディションで選ばれた学生ら34人(ダブルキャスト)と大阪音



## 精鋭 舞台はつらつ



楽大学合唱団、同管弦楽団が、お伽話のようなジグジュビール(歌芝居)を見事にやり遂げました。

**西村圭市さん(院2)の話** 学生オペラは3回目。二枚目の役が多かったのですが、今回は三枚目でドイツ語。自分のキャラと違うので、大変なこともあったのですが、よい経験になりました。



## 音楽演奏会

## 第14回吹奏楽演奏会 **短大**

大阪音楽大学短期大学部第14回吹奏楽演奏会は3月8日、ザ・カレッジ・オペラハウスで催されました。小野川昭博講師の指揮で、同吹奏楽団はP.スパークの「祝典のための音楽」、兼田敏の「シンフォニック・バンドのためのパッサカリア」、09年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より諏訪雅彦の「16世紀のシャンソンによる変奏曲」、平田智暁の「ネストリアン・モニュメント」を演奏しました。

休憩後、藤代敏裕のマーチ「青空と太陽」、J.ヴェンデルローストの「プスタ 4つのジブシー舞曲」、C.T.スミス「吹奏楽のための交響曲 第1番」を熱演しました。

課題曲の勉強に来た箕面自由学園高校吹奏楽部の26人。2年生の平勢夏海さんは「圧倒されました。優しい音色とか自分たちでは出せない音などを聴き、勉強になりました」と話していました。



## 大阪音楽大学・短期大学部 第6回 ザ・ストリング・コンサート

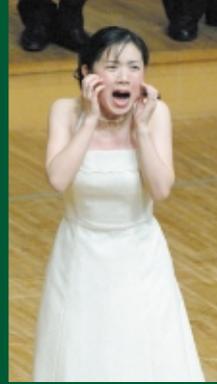
第6回ザ・ストリング・コンサートが3月10日、ザ・カレッジ・オペラハウスで開かれました。一曲目は大学、短大1、2年生の演奏でW.A.モーツァルトの「ディヴェルティメント 第3番」。指揮は上塚憲一准教授。軽やかなフレーズが陸まじく呼びかけ合い音楽を紡ぎます。続いて3、4年生と専攻科生の演奏でA. ヴィヴァルディの「四季」。ソリストは4年生の上川忠昭、山田聖華、小山亜希、土井美佳さん。上塚准教授はチェロを演奏。最後は豊かな低音弦が奥行きある響きを生み出し、弦楽アンサンブル



## 弦楽合奏 神経とぎすまし

ルが刻む特徴的なリズムが魅力的なJ.スークの隠れた名曲「弦楽のためのセレナーデ」を、弦楽器専攻生全員で演奏しました。

上塚准教授の話  
指揮者がいない状況で「四季」を演奏するには、コンチェルトなのでよほど神経をとがらせないと合わせられません。よくがんばってくれました。



## オペラハウス20周年記念公演開幕

ザ・カレッジ・オペラハウス20周年を記念した8企画10公演のトップを切って「オペラ・ガラ・コンサート」が3月5日に催され、新鋭、中堅、ベテランの歌手と広上淳一氏指揮のオペラハウス管弦楽団、同合唱団が出演しました。

プログラムの第1部はモーツァルト・シリーズのオペ



ラから「フィガロの結婚」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「ドン・ジョヴァンニ」、「魔笛」の4作品。第2部は20世紀のオペラから松村禎三台本・作曲の「沈黙」、カール・オルフ台本・作曲の「賢い女王様と賢い女の物語」、鈴木英明名誉教授作曲の「鬼娘恋首引」の3作品。

広上氏の話 若手からベテランまでの歌手、オペラハウス管弦楽団と合唱団の人たちがすべて集まったところが魅力です。レストランで言えば、屋台があちこちに出ていて、おいしいものがたくさん食べられたというところではないですか。

「オペラ・ガラ・コンサート」成功

大阪音楽大学第40回吹奏楽演奏会は3月1日、大阪市北区のザ・シンフォニーホールで開かれました。学生たちには記念の演奏会。北野徹教授の指揮で約2時間半にわたって熱演しました。

プログラムはK.フーサの「この地球を神と崇める」。09年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より平田智暁の「ネストリアン・モニュメント」、諏訪雅彦の「16紀のシャンソンによる変奏曲」、藤代敏裕のマーチ「青空と太陽」。青森ねぶた祭りの桶胴太鼓も登場する真島俊夫の「三つのジャポニスム」とB.ビクールの「交響曲第0番」。

北野教授は「オリジナル3曲を含むベビーなプログラムでしたが、思っていた以上に良い演奏をしてくれました。学生たちの可能性を改めて思い知り、なおかつ芸術的に楽しい音楽に仕上げてくださいました」と話していました。

## 大学 第40回吹奏





19世紀末、芸術の都ウィーンで花開いた歌曲と、20世紀、新天地アメリカで生まれた小粋なオペラの二部構成。ソプラノの加藤かおりさんが中村展子講師のピアノで、そこはかとないうるすに旋律が優美なA・ツェムリンスキーの「青い小さな星」、螺鈿細工の妖しさを秘めたA・シエーンベルクの「期待」などを、艶やかなソプラノで詩情豊かに独唱しました。



続いてソプラノの南奈緒さん（ルーシー）、バリトンの福嶋勲さん（ベン）、ピアノの西聡美さんの演奏で、G・C・メノッティのオペラ「電話」。一緒にいても電話に夢中のルーシーに、内気なベンがとうとう外から電話で告白というストーリー。恋人同士のちぐはぐなやりとりを、ユーモアたっぷり、チャーミングに演じました。

**若い芽のコンサート  
近代歌曲とオペラの魅力**  
2月14日 ミレニウムホール

**ドイツのワイマール・リスト音大と調印  
本学との提携は4大学に**

大阪音楽大学はドイツのワイマール・リスト音楽大学と09年3月、提携文書に調印しました。これで提携校は韓国、中国各1、ドイツ2の計4大学となりました。

ワイマール・リスト音楽大学は世界遺産の文化都市ワイマールにあり、F.リストの提唱で設立され、約850人の学生が学んでいます（206号で詳報します）。



これで5人目です。西村さんは07年に大阪音楽大学を卒業。その中で声楽の最優秀賞に選ばれて大学院オペラ研究室に進学。在学中に第61回全日本学生

村眞理子さん（08年院修・ソプラノ）に続くもので、本学出身のオペラ研修生は

新国立劇場オペラ研究所（若杉弘所長）の第12期生に、大学院を3月に修了したバリトンの西村圭市さんが合格しました。08年の木

**新国立劇場  
オペラ研修所**

**西村さん12期生に**

音楽コンクール声楽部門大学一般の部第2位に入賞しました。4月から入所し3年間、研修を受ける西村さんは「大阪音楽大学には感謝の気持ちでいっぱいです。これからオペラ歌手としてのスタート台に立たせていただくと、音大から栄養いっぱい土を頂きました。これからは新国立劇場というタネをもらって、大きな花を咲かすことができるよう精いっぱい努力していきたいと思えます」と抱負を述べていました。

**私たちが Non ti scordar di noi 忘れないで**

M.レアーレ特任教授声楽特別講座受講生による最後の発表会は1月23日17時からミレニウムホールで行われました。5年続いた同講座は今年度で終了。発表会も題して「Non ti scordar di noi」（私たちが忘れないで）。

冒頭にレアーレ特任教授が関係者に感謝の言葉を述べ、阪上和夫教授が「先生には本当に良い教を頂きましたが、残念ながら私も一緒に卒業ということになりました」とあいさつしました。

発表会は第1部がオペラ、第2部がオペレッタとミュージカル。西村圭市さん（院2）らがG.プッチーニの「マ

**レアーレ先生受講生の発表会**



1月23日 ミレニウムホール

ノン レスコー」より『この巻き毛は不自然ね』などを次々と熱唱。最後は全員で「Non ti scordar di noi」を合唱しました。



# 須山知行名誉教授が死去

大阪音楽大学の邦楽部門の基礎を築いた須山知行（本名・中島知行）名誉教授が2月17日、心不全のため守口市内の病院で死去、90歳でした。



19日12時30分から同市の盛泉寺で葬儀、告別式が営まれ、西岡信雄理事長ら本学関係者も参列しました。喪主は妻の中島警子名誉教授。

分

## 邦楽部門の基礎を築く

須山名誉教授は、箏曲と西洋音楽との調和に新生面を開いて「新日本音楽」を創始した宮城道雄氏の高弟でした。また、尺八、三絃、胡弓のほか、笙など雅楽一般にも力を尽くしました。47年（昭和22年）に中島名誉教

授と「関西における宮城箏曲普及の拠点」をめざして、桐絃社を結成。07年に刊行した「桐絃社の60年」の中で、須山名誉教授は「桐絃社も昭和四十年代になると、数（門弟数）を増やすよりも質（水準）をいかに上げていくかに課題を移し（中略）これについては私と中島が大阪音楽大学で教鞭をとったことが大きく役立ちました」と述べています。

その本学短期大学部に音楽専攻コースが開設されたのは67年（同42年）。須山名誉教授と地歌・箏曲演奏家で人間国宝だった菊原初子名誉教授、中島名誉教授の3人

が中心で、東京芸術大学に次いで邦楽部門の誕生となりました。現在、短大、同専攻科、大学、同専攻科に邦楽部門があります。

受賞歴は57年度（同32年度）と64年度（同39年度）に大阪文化祭賞など多数。96年（平成8年）に勳五等瑞宝章を受章しています。

大阪フィル時代、須山名誉教授と何度も共演したという西岡信雄理事長は「須山先生は本学邦楽部門を立ち上げた主人公で、優秀な卒業生を邦楽の世界に送り出してくださりました。また、宮城道雄の精神を具現化した後継者と言える人でした」と悼んでいました。

ギター



三宅真司さん 大西洋二郎さん

音楽で自立することをめざして教室を開き、コンサートを企画し、指導や演奏活動に取り組んでいきます。英国留学を希望する三宅君には、留学前に渡英して自分に合った学校を見極めるよう勧め、すでに留学して英国に住む卒業生を紹介しました。学士を取得すれば、編入はもちろん大学院も受験できますので、勉強の自由度がぐんと高まります」と、卒業後も温かくサポートしています。

## ギターの短専修了生 相次ぎ学士に

して専攻科に進学。学士取得の勉強は順調でしたが、授与機構に提出する学修成果の作成が大変でした。コンセプトの明確なプログラムを組み、機材をそろえ、自分の演奏を30分通して録画したビデオテープを機構に提出します。朝一

三宅真司さん（05年短専修 ギター）「学士に必要な単位取得のため、本学の科目等履修生のほか、神戸大学にある放送大学兵庫学習センターへ通って勉強しました。専攻科修了後、企業の正社員として就職しましたが、海外留学したかったので転職して留学資金を貯金しました。留学先に英国を選んだのは、音楽や語学を勉強する環境が整っているから。英国で音楽と英語をしっかり勉強して身につけたい。4月に渡英し、自分に合った学校を探す予定です。学士の資格が留学先で多少なりともメリットになればと期待しています」

### 本学教員による出張レッスン&学校説明会

大阪音楽大学・同短期大学部は教員による「出張レッスン&学校説明会」(声楽・ピアノ・管楽器アンサンブル)を5月から6月にかけて次の通り大阪・難波、高松市、広島市の3カ所で催します。

【5月31日】10時～18時(学校説明会は13時30分～)、大阪市浪速区のカワイ難波店で。

<声楽>田中由也<ピアノ>芹澤佳司<木管アンサンブル>本田耕一<金管アンサンブル>木村寛仁

【6月7日】10時～18時(学校説明会は13時30分～)、高松市のカワイ高松センターで。

<声楽>荒田祐子<ピアノ>八田惇<木管アンサンブル>赤松二郎<金管アンサンブル>木村寛仁

【6月14日】10時30分～18時(学校説明会は13時30分～)、広島市中区のカワイミュージックショップ広島で。

<声楽>田中由也<ピアノ>油井美加子<木管アンサンブル>長山慶子<金管アンサンブル>木村寛仁

広島では14時からレッスン教員によるミニコンサートも催します。入場無料ですが、申し込みが必要です。これらの申し込みは本学ホームページで(先着順)。

<http://daion.ac.jp> (PC)

<http://daion.ac.jp/m> (携帯)



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。高校生のみなさんは新たな気持ちで新学期をお迎えのことと存じます。3年生の方はいよいよ受験です。目標に近づくためにより一層努力してください。応援しています。

## 09年度オープンキャンパス

今年度は計3回のオープンキャンパスを開催します。主な内容を紹介します。

◇7月29日(水) 公開授業や体験授業をします。申し込みをしてお申し込みをします。オペラハウスと演奏できます。

◇12月23日(水) オペラハウスで、声楽、ピアノ、金管アンサンブルの公開レッスンをを行います。レッスンの様子や演奏のポイントなどさまざまなものを吸収してください。

標に近づくためにより一層努力してください。応援しています。

では、ピアノ2台によるアンサンブルや弦楽アンサンブル、オペラの名曲をお聴きいただきます。その他、ガムランやアコーディオンなど盛りだくさんです。

◇10月12日(月) 大学・短大の定期授業を実施する祝日にオープンキャンパスを行います。普段の授業風景を見学し、緊張感を味わってみてください。オペラハウスでは笙や箏(ひちりき)などの雅楽の演奏をお聴きいただきます。

大阪音楽大学と同短期大学部は高校を対象に出張授業を始め、1月17日は高昌帥助教が大阪府大東市の大阪桐蔭高校へ、19日には田中由也准教授が兵庫県尼崎市の園田学園高校で授業をしました。

### 高校を対象

### どこでも出張授業

大阪音楽大学と同短期大学部は高校を対象に出張授業を始め、1月17日は高昌帥助教が大阪府大東市の大阪桐蔭高校へ、19日には田中由也准教授が兵庫県尼崎市の園田学園高校で授業をしました。

これから社会人になる中で、どう自己表現するか。「手をつないだり、抱き合ったりして」と言う田中准教授に「えっ」と驚きの声。「笑いの作業」で生徒らはピアノに合わせ、「あ、はっはっはっはっ」。

### 園田学園高では「自己表現」テーマ



次いで半分ずつ2班に分かれ、一人が「ゴリラ」、「ウサギ」と声をかけ、残りの人はゴリラやウサギを真似る一瞬芸を演じます。次いで、向かい合った状態で相手を決めないでボールを投げ合ったり、ファッションモデルになってウォーキングしたり。田中准教授は「演ずることは大事です。笑いをいかに表現するか、また、しっかりと声を出し、声を最大の武器にしてください」などと話し、授業を締め括りました。

音楽を志したり、関心を持っていたりする高校生に、音楽の面白さや存在意義の大きさを知ってもらうのと、音楽の輪を広げていくために、専門家が分かりやすく興味深い授業をします。講義時間は50分で、授業の内容は、歌ってみよう、マロビンユラーもジャズも、ゴスペルも、マロビン、クリニクなど、受講料は無料です。

17日の園田学園高校。15時45分から1〜3年生約30人が出席。コーラス部、吹奏楽部、陸上部などに所属、楽譜の読めない生徒もいるので、「音楽のレッスン？」と質問。「違う、遊ぶんや」という田中准教授の答えに、「やったあ」。テーマは「自己表現」など。こ

問い合わせと申し込み先は本学出張授業係(〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8)。  
電話 06-6334-2709  
FAX 06-6336-4428

《2009年》

- 4/1(水) 同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査実施要項発行
- 6/1(月) 2010年度大学・短大 入学試験要項発行  
2010年度短大進学実技適性テスト実施要項発行  
受験講座(夏期・冬期)募集要項発行
- 6/30(火)~7/6(月) 受験講座(夏期)申込受付  
第57回到達度テスト受験申込受付
- 7/29(水) オープンキャンパス①  
第58~60回到達度テスト実施要項発行
- 7/30(木)~8/1(土) 受験講座(夏期)
- 8/2(日) 第57回音楽基礎科目到達度テスト
- 8/8(土)~12(水) 同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査申込受付
- 8/24(月)~28(金) 2010年度短大進学実技適性テスト申込受付
- 8/29(土)~30(日) 同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査
- 9/13(日) 2010年度短大進学実技適性テスト
- 10/12(月) オープンキャンパス②
- 11/1(日)~6(金) 2010年度大学・短大 公募・特別推薦入試願書受付
- 11/20(金)~23(月) 2010年度大学・短大 公募・特別推薦入学試験
- 11/28(土)~12/4(金) 受験講座(冬期)申込受付  
第58回到達度テスト受験申込受付
- 12/23(水) オープンキャンパス③
- 12/24(木)~26(土) 受験講座(冬期)
- 12/27(日) 第58回音楽基礎科目到達度テスト

《2010年》

- 1/18(月)~22(金) 2010年度大学・短大 一般入試A日程願書受付
- 2/9(火)~12(金) 2010年度大学・短大 一般入学試験A日程
- 2/24(水)~3/2(火) 第59回到達度テスト受験申込受付
- 3/15(月)~19(金) 2010年度大学・短大 一般入試B日程願書受付
- 3/23(火)~24(水) 2010年度大学・短大 一般入学試験B日程
- 3/24(水) 第59回音楽基礎科目到達度テスト

'09年度大学・短大  
入試関連スケジュール

7/29  
10/12  
12/23  
オープンキャンパス

# 入試の質問や相談は 本学ブースでどうぞ

各地で開催される進学相談会に本学ブースを設け、大学スタッフが来場されたみなさん(高校生や保護者、高校教員など)の質問、相談にお答えします。主催者側の都合により、日時などが変更になることもあります。詳細は本学ホームページでご確認ください。

## 2009年度進学相談会予定

**北陸地区**

- 6月17日(水) 福井 フェニックス・プラザ
- 6月18日(木) 金沢 金沢駅もてなしドーム

**近畿地区**

- 4月15日(水) 泉 北 国際障害者交流センター
- 4月20日(月) 近江 八幡路 ホテルニューオウミ
- 4月21日(火) 近江 八幡路 ホテル日航姫路
- 4月24日(金) 岸和田 泉州ビル
- 4月30日(木) 和歌山 JAビル
- 5月9日(土) 山田 梅田スカイビル
- 5月11日(月) 山田 なら100年会館
- 5月12日(火) 和歌山 高槻現代劇場文化ホール
- 5月13日(水) 京都 アバンティビル
- 5月27日(水) 京都 須磨パティオ
- 6月10日(水) 天王寺 天王寺ホテル
- 7月20日(月) 大阪 大阪府教育センター  
大学コンソーシアム大阪「大学フェア」

**中国地区**

- 5月25日(月) 岡山 岡山コンベンションセンター
- 5月26日(火) 福山 福山ニューキャッスルホテル
- 5月27日(水) 広島 基町フレド

**四国地区**

- 6月1日(月) 高知 高知新阪急ホテル
- 6月2日(火) 新居浜 リーガロイヤルホテル新居浜
- 6月3日(水) 松山 松山市総合コミュニティセンター
- 6月4日(木) 高松 全日空ホテルクレメント高松
- 6月5日(金) 徳島 ホテルクレメント徳島

大阪音楽大学短期大学部 音楽科	一般入試A日程		推薦入試 (公募+特別)	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲コース	3	2	7	7
声楽コース	9	9	29	29
ピアノ・コース	9	9	80	79
管楽器コース	20	18	56	55
弦楽器コース	1	0	3	3
打楽器コース	0	-	9	8
邦楽コース	0	-	1	1
ジャズ・コース	1	1	11	11
ポピュラー・コース	8	7	42	39
ミュージカル・コース	1	1	11	11
電子オルガン・コース	1	1	11	11
合計	53	48	260	254

大阪音楽大学 音楽学部	一般入試A日程		推薦入試 (公募+特別)	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲学科	6	2	8	5
作曲専攻	6	2	7	4
音楽学専攻	0	0	1	1
声楽学科	28	23	35	31
器楽学科	69	59	143	136
ピアノ専攻	33	29	71	69
オルガン専攻	0	-	0	-
管楽器専攻	32	27	60	55
弦楽器専攻	1	0	3	3
打楽器専攻	2	2	9	9
邦楽専攻	1	1	0	-
合計	103	84	186	172

大阪音楽大学短期大学部 音楽科	一般入試A日程		推薦入試 (公募+特別)	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲	0	-	0	-
音楽学	0	-	6	3
オペラ	4	1	4	1
歌曲	4	1	4	1
ピアノ	4	1	4	1
管弦打	5	0	5	0
合計	19	5	19	5

09年度に実施した各入試試験の結果は次号に掲載します。大学・短大一般入試B日程と大学院後期日程の結果は次号に掲載します。

# 09年度入学試験結果

大阪音楽大学 音楽専攻科	志願者数	合格者数
作曲専攻	1	1
作曲	1	1
声楽専攻	16	11
声楽	16	11
演出	0	-
器楽専攻	24	21
ピアノ	12	9
オルガン	1	1
管楽器	8	8
弦楽器	3	3
打楽器	0	-
邦楽	0	-
合計	41	33

大阪音楽大学 短期大学部 専攻科	志願者数	合格者数
作曲専攻	1	1
声楽専攻	4	4
声楽	2	2
ミュージカル	0	-
ポピュラー・ヴォーカル	2	2
器楽専攻	28	24
ピアノ	18	14
電子オルガン	1	1
管・弦・打楽器	5	5
ジャズ	0	-
ポピュラー・インストゥルメント	4	4
邦楽	0	-
合計	33	29

大阪音楽大学 第3年次編入学	一般入試		推薦入試	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲学科	2	2	0	-
作曲専攻	1	1	0	-
音楽学専攻	1	1	0	-
声楽学科	8	5	1	1
器楽学科	27	21	8	8
ピアノ専攻	21	17	2	2
オルガン専攻	0	-	0	-
管楽器専攻	5	4	4	4
弦楽器専攻	0	-	0	-
打楽器専攻	1	0	2	2
邦楽専攻	0	-	0	-
合計	37	28	9	9

## 09年度ミス日本グランプリ

## 池田有希さん「準ミス」

2009年度ミス日本グランプリ決定コンテストが1月26日に東京・京王プラザホテルで行われ、関西ブロック代表の池田有希さん(大4・声楽)が準ミス日本に選ばれました。このコンテストは50年に第1回大会を開催、これまでに女優の山本富士子、藤原紀香さんらがグランプリに輝いています。

そんな池田さんにも大きな壁が。歌が歌えなくなり、これまで経験したことのない孤独感が池田さんを襲いました。そんな池田さんを見て、お母さんが「気晴らしにコ

池田さんは06年度の短期大学部優秀賞に選ばれ、卒業後は大学に編入。07年には学生有志と卒業生たちによるミュージカル「レ・ミゼラブル」で少女コゼット役に抜擢されるなど、学生生活活を謳歌していました。



## いつも輝く女性でいたい

そんな池田さんにも大きな壁が。歌が歌えなくなり、これまで経験したことのない孤独感が池田さんを襲いました。そんな池田さんを見て、お母さんが「気晴らしにコ

コンテストに応募でもしてみたら」といつてくれたそうです。「自分を取り戻すきっかけになれば」。これが応募のきっかけでした。予選は全国8ブロックで行われ計3508人が応募。書類審査と面接の結果、29人がミス日本の候補に選ばれ全国大会へ。池田さんはグランプリこそ逃したものの見

## 延原さんにドイツから勲章

日本テレマン協会代表で指揮者の延原武春さん(66年大卒・オーボエ)が1月9日、ドイツ政府から授与された「ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章」を伝達されました。長年にわたり、18世紀のドイツ音楽をベースに、バロック音楽普及に努めたのと、クラシカル楽器を使ったベートーヴェンチャルスが評価されました。



延原さんは本学在学中の63年、バロック音楽啓蒙を活動の大きな柱としてテレマン・アンサンブル(現テレマン室内管弦楽団)を創設。77年に文化庁芸術祭・優秀賞、86年にサントリー音楽賞などを受賞。08年には同協会創立45周年で「クラシカル楽器によるL・V・ベートーヴェン交響曲全曲演奏&荘厳ミサ曲」を開催。クラシカル

## バロック音楽普及に尽力

楽器を使ってオリジナルのテンポで全交響曲を演奏しました。日本人指揮者の受賞は3人目で、うち故朝比奈隆名誉教授と延原さんの2人が本学出身・関係者。延原さんは「ドイツ音楽を専門にやってきて思いがけず、ドイツから勲章を頂き、うれしいのと同時にびっくりしました。一緒にやってきた大勢の人たちと受賞したのと思っています。これからも関西の音楽文化発展のパイプ役を果たしていきたい」と話していました。

## オルガンプロムナード

## 「未来への輝き」



大阪音楽大学オルガン専攻の学生たちによるコンサート「オルガンプロムナード・未来への輝き」が3月7日、大阪府羽曳野市のLICはびきのホールで開かれました。出演は池田伊津美さん(大専)、白川佳那子さん(大4)、富田一樹さん(大2)、中村歌奈さん(大

## 池田さんら5人演奏

2)、野村葉々保さん(大1)。

北ドイツオルガン楽派の巨匠で、J・S・バッハのオルガン音楽に大きな影響を与えたD・ブクステフーデ、ロマンティズムで天真爛漫な曲が魅力的なF・メンデルスゾーンらバロック時代から20世紀後半に活躍した作曲家まで5人の曲を演奏。パイプオルガンの多彩な音色、重厚で荘厳な響きが会場を魅了しました。

### 松方ホール音楽賞 岡村さんが奨励賞受賞

トロンボーンの岡村哲朗さん(大3)が第12回松方ホール音楽賞(神戸新聞社など主催)の金管楽器部門で奨励賞を受賞、2月7日、同ホールで行われた授賞式・記念コンサートでデュファイの「バッハ風に」などを演奏しました。「将来はオーケストラの仕事を通してさらに音楽を深めていきたい」と岡村さん。



#### コンクール 敬称略

■第21回和歌山音楽コンクール 声楽部門大学生の部 3位(1、2位該当なし)川田理紗(大4・声楽)=8月27日、和歌山市民会館。和歌山市など主催



川田理紗

■第9回大阪国際音楽コンクール 二台ピアノ部門 3位(1、2位該当なし)木村貴子(92年・院修)、關口康祐(04年・大専修)=10月13日、うはらホール。大阪国際音楽振興会主催



木村貴子

■第6回かやぶき音楽堂デュオコンクール B部門 2位 木村貴子、關口康祐=11月3日、かやぶき音楽堂。デュオコンクール実行委員会主催



關口康祐

■第12回アマチュア管楽器コンクール アンサンブル部門 兵庫県知事賞 エメリローネロープラス カルテット=岩本慶



小橋綾実



左から岩本慶、名嘉麻菜、西村貞則、東豊章

妃(大2・トロンボーン)、西村貞則(同)、名嘉麻菜(短2・トロンボーン)、東豊章(短2・チューバ)=11月30日、親和中学・親和女子高等学校ホール。KOSMA音楽愛好会主催

■第14回KOBEL国際学生音楽コンクール 管楽器部門Bの部 最優秀賞、兵庫県教育委員会賞、タカハシパール賞 小橋綾実(大3・クラリネット)=1月10日、神戸文化ホール。KOBEL国際学生音楽コンクール実行委主催

## 生徒と遊べ! ピアノレッスン

植田恵理子さん (83年大卒・声楽)  
音楽之友社 1600円+税



「音の絵本コンサート」などの活動を通して、子どもの音楽教育に携わっている植田恵理子さんにと

取り組んできた実践集です。植田さんは音に興味を持ち、生じて「生徒と遊べ! ピアノレッスン」は4冊目の著書。「レッスンに集中してくれない倦怠期の生徒。ならば一工夫、レッスンに集中させてやろうじゃないか。」「わはは先生」の愛称で知られる著者が、生徒をやる気にさせる必殺技を一挙公開してくれます。

「だって、弾けないんだもん」。これが、「ピアノの倦怠期」に入った生徒の決り文句。「わはは先生」はそんな生徒にやる気を起こさせるために、レッスンの中に様々な仕掛けをします。遊びやゲーム感で取り組む「CMづくり」や「ドラムを使ったりリズム攻略」もその一つ。

「生徒の倦怠度に合わせ一緒に遊んでやるのが大事なんです」。本書は月間誌「ムジカノヴァ」(音楽之友社)の連載をまとめたもの。意欲と表現力を育てるために「わはは先生」が長年

「わはは先生」が倦怠期攻略法伝授

「音の絵本コンサート」を開いてきました。2月に大阪府豊中市で行われた8回目の公演は「ももたろう」。

「大きな桃がどんぶらこ…」のシーンでは、観客が事前に配られた青いポンポンを前後左右に揺らし、客席が川に変身。大きな桃は直径120センチもあるビーチボール。お客さんの手から手へ会場中を飛び跳ねます。心憎い演出。子どもたちは歓声を上げながら、いつの間にか物語の中に引き込まれます。

植田さんはピアノ教師の傍ら執筆活動や教材開発も。また、音楽教育の講師として全国を飛び回る売れっ子。4月からは花園大学社会福祉学部の准教授に就任されます。

## 歌物語 水車小屋の娘 青春の旅

高木 福光さん (70年大卒・声楽)



北海道で西洋民宿「山小屋ふあーでん」を営みながら、地域に根ざした音楽活動を行っている高木福光さん(70年大卒・声楽)が、シューベルトの歌曲集「水車小屋の娘」を日本語で歌ったCDをリリースしました。ピアノは伊藤幸治さん。「ドイツ歌曲が身近でない北海道で、すてきな歌を少しでも身近に置きたい」という思いから、高木さんが自らドイツ語の歌詞を「歌える日本語」に翻訳しました。CDのライナーノ

ーツには塩津洋子准教授が「解りやすい日本語を使い音楽的配慮の行き届いた訳詞による演奏。日本人にドイツ・リートの素晴らしさを伝えたいという、彼の思いに一つの答えが出た」とコメントを寄せています。製作はムー音楽工房。2000円。3月にはリサイタルを開き、シューマンの歌曲集「詩人の恋」を演奏しました。

<問い合わせ>高木福光

☎090-2698-2162

## 西岡名誉教授「世界に受けたい授業」講師に

西岡信雄名誉教授が2月28日、日本テレビの人気番組「世界に受けたい授業」に出演しました。「世界の楽器を知り尽くす楽器博士」の西岡名誉教授は、



① 出演者に楽器を教える西岡名誉教授  
② サントウフルを演奏するアナビ講師

で訪れた世界各地の珍しい楽器や音楽文化を、クイズ形式で紹介。「リコーダーは何のために使う笛?」「弦を触らずにハーブの音を鳴らす方法は?」。出演者が頭をひねる中、



西岡名誉教授は「人間は遊び心があるから妙なものを作る。知恵を働かせるうちに嘘みたいなことができるようになる」と話し、クイズに解答。プリーリー・アナビアン講師も出演しサントウフルを演奏しました。モンゴルの唱法ホーミーや、マレーシアの鼻笛に挑戦した出演者たちは、思いもよらぬ演奏法にとまどいながら、西岡名誉教授の巧みなりードで成功すると満面の笑み。「楽器で世界一周旅行」を超特急で成し遂げました。

## 大嶋真規子さんがCMに出演

ソプラノの大嶋真規子さん(06年大卒・声楽)が、太平建設工業株式会社のテレビCMに出演。同社のイメージアップに貢献しています。大嶋さんは卒業後、



関西二期会オペラ研修所で二年間研鑽に励んだ後、同社に就職。現在営業事務の仕事をしています。CMではドレス姿の大嶋さんが現場の作業着姿の社員に囲まれ、「安心、親切、ていねいよ」と優雅に歌うミスマツチが笑いを誘います。CMソングの作曲者は、関西二期会の歌手

として活躍する大西信太郎さん(04年大専修・声楽)。CM録音ではピアノ演奏も担当しました。同社の竣工式で、二人の演奏を耳にした会長のひらめきから生まれたこのCM。2月・3月はTBSの「みのもんだ朝ズバッ!」で放送されましたが、4月からは阪神タイガースの野球中継番組で放送されます。仕事をこなしながら音楽活動にも積極的な大嶋さんは、3月にオペラハウスで「レ・ミゼラブル」のコゼット役で出演。大西さんもジャン・バルジャン、ジャベール役のカバーキャストとして公演を支えました。

### 大阪音楽大学付属音楽院とは?

大阪音楽大学付属音楽院は大阪音楽大学付属音楽学園を前身として、幅広い年齢層の方々への音楽の生涯学習を目的として2003年に開設されました。

専門性を極めたい方、趣味で音楽を学びたい方、音楽・芸術大学への進学をめざす高校生、将来性豊かな子どもたち、といった多くの方々が、本学キャンパス内で音楽大学教員をはじめとする多彩な講師陣による講座・個人レッスンなどを受けて、のびのびと音楽を学んでいます。

### 子ども音楽教育講座

1958年設立の付属児童音楽学園から数えて半世紀以上にわたる音楽教育のノウハウを活用して、幼児期からの音楽を通じた情操教育と専門教育の基礎づくりを目的として「子ども音楽教育講座」を開講しています。

今年度は、昨年度好評の「子どもの打楽器合奏」がI・IIの2クラス開講となるほか、幼稚園年中～小学校3年生までの初心者のお子様を対象とした、手軽で始めやすいキッズレッスンの開講など、子どもたちの音楽学習環境の充実に力を入れています。

### 無料体験受講受付中!4月18日・25日

以下の講座の無料体験受講を現在受け付けています。

- こども音楽クラス(4~5歳)
- ソルフェージュ(小学生~)
- こどもの弦楽合奏
- こどもの打楽器合奏
- キッズレッスン(ピアノ・ヴァイオリン)

締め切りは4月11日ですが、講座ごとの定員に達し次第申し込みを締め切りますので、ご検討中の方は早めにお問い合わせください。

### 音楽院のひろば

また、両日共に15時45分から特別講座「音楽を学ぶ子どもたち」を開催しています。会員・体験受講者の保護者は無料ですので、ぜひご来場ください。

### 学長による音楽院特別講演 音楽=人間の命(時間)を輝かせるもの 5月23日(土)15時30分~17時

本学学長中村孝義教授(音楽学)による特別講演を音楽院特別講座で実施します。

人間の存在に音楽がどの様な意味や

役割を果たしているのか。音楽に関わる全ての人にとって重要なテーマを、様々な音楽に耳を傾けながら考えます。

「専門家はその専門性をわかりやすい言葉で語らなければならない」という学長の熱い想いで実現したこの講座は、聴く人、演奏する人など様々な立場の方に聴いていただきたい内容です。

### 個人レッスンは随時受付中

音楽院の個人レッスンは、4歳以上ならいつからでも始めていただけます。楽器やジャンル、レッスンの目的やレベルなど幅広く対応が可能です。「音楽」を習いたい方はぜひご相談ください。

◇ ◇ ◇  
パンフレットのご請求、お申し込みは

大阪音楽大学付属音楽院  
〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8  
TEL 06-6334-2909 FAX 06-6334-2675  
URL <http://ongakuin.jp>  
E-mail [ongakuin-support@daion.ac.jp](mailto:ongakuin-support@daion.ac.jp)  
窓口・電話受付時間 月~土:10時~17時  
日曜・祝日はお休みです。

大阪音楽大学後援演奏会

<p><b>Next mushroom promotion vol.11</b>「マウリシオ・カーゲル」～無国籍料理 4月18日(土) 第1部13時30分 第2部18時30分 ザ・フェニクスホール 第1部2500円(前売) 第2部3000円(前売) 学生1000円 通し券5000円(前売) 中村功 上田希 葛西友子 大竹秀晃 ほか ☎090-8443-5343 福井</p>
<p><b>An Evening of Art Songs～歌曲の夕べ</b> 4月30日(木) 2000円 兵庫県立芸術文化センター小ホール 安芸栄子 木下裕子 高津綾子 中川令子 中西金也 名島嘉津栄 林倉見佳 宮嶋聡子 青谷理子 岡本佐紀子 村上衣絵 加藤理彩子 市川麻里子 窪田恵美子 ほか ☎090-3036-7424 ソワレの会 中西</p>
<p><b>中野聡子ピアノ名曲コンサート～コスモスの花～</b> 5月4日(月)14時 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール 2000円 中学生以下1000円 酒井格:「ホリデイ」「ミルクウエイ」 ほか ☎06-6336-9851 中野</p>
<p><b>芹澤文美ピアノリサイタル</b> 5月15日(金)19時 イシハラホール 前売3000円 当日3500円 リスト:ソナタ 第2番 ほか ☎0797-84-5952 ラブサウンド</p>
<p><b>第7回花鳥風月コンサート</b> 5月16日(土)15時 高槻市立総合市民交流センター8階イベントホール 前売1500円 当日2000円 学生500円引 小川香織 後藤千津瑠 久保美緒 船谷浩子 小林なつ美 和辻雅子 ☎080-3766-5106 小川</p>
<p><b>潘宗賢・脇山幹士デュオリサイタル</b> 5月17日(日)14時30分 3000円 アコースティック・ライブ・クレオール 張己仁:笛韻 ほか <a href="http://www.papageno.jp/creole/">http://www.papageno.jp/creole/</a></p>
<p><b>第37回現代音楽作品の夕べ</b> 5月17日(日)15時 トントレフ・ヒコ 一般3000円 学生2500円 近藤浩平 内藤正彦 中澤道子 朴守賢 平野達也の作品 ☎090-7553-0503 中澤</p>
<p><b>オルティスコンサート定期演奏会 No.20</b> 5月22日(金)19時 カトリック奈良教会 前売3000円 学生2000円 坂本利文 坂本洋子 橋詰玲子 中西歩 上田敦子 ☎0742-26-2094 坂本古楽コンサート</p>
<p><b>西本由香・小川恵子ピアノジョイントリサイタル</b> 5月24日(日)13時30分 前売2500円 当日3000円 大阪府立労働センター プチエール ラマニョフ:ソナタ 第2番 ほか ☎06-6866-5648 小川</p>
<p><b>第18回大阪ゲヴァントハウス合唱団定期演奏会</b> 5月30日(土)17時 いずみホール 3000円 指揮:テノールソロ 波多野均 ピアノ 垣内みどり ゲスト 日下部吉彦 平田聖子 メンデルスゾーン:マニフィカート 詩篇100番</p>
<p><b>山田みつ先生を囲んで～大阪音楽大学退任記念演奏会</b> 5月31日(日)14時 いずみホール 3000円 稲井範子 本多千紘 森田有香 上野博美 水頭説子 櫻町総子 横田知子 油井美加子 山田みつ ☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会</p>
<p><b>～水無月に寄せる全作品初演コンサート～</b> クラリネットとピアノの為の響樂 6月14日(日)15時 トントレフ・ヒコ 一般2500円 学生1500円 高昌帥 駒井肇 大澤弘之 田中邦彦 中澤道子 永田孝信 川口京子 園田文字 ☎0798-47-6613 永田</p>
<p><b>サントリー音楽財団第7回佐佐木三賞受賞記念</b> <b>井上麻子×藤井快哉DUOリサイタル</b> 6月24日(水)19時 兵庫県立芸術文化センター 小ホール 6月30日(火)19時 サントリーホール&lt;ブルーローズ&gt; 各日3000円(割引2500円) ☎06-6251-8266 ヤマハアトリエ大阪</p>



「幸楽会」後援演奏会

<p><b>リコーダーとピアノの19世紀音楽</b> 4月11日(土)15時 東梅田教会 2000円 リコーダー 水上陽一 ピアノ 松井正樹 クレーマー:デュオ・コンチェルト ほか ☎072-843-6038 水上</p>
<p><b>出光世世子 北倉明子 ピアノリサイタル</b> 4月12日(日)14時 神戸芸術センター シューマンホール 前売2500円 当日3000円 シューマン:ウイーンの謝肉祭の道化 ショパン:バラード 第1番 ほか ☎090-1906-9951 出光</p>
<p><b>西村志保チェロリサイタル</b> 4月2日(日)14時 兵庫県立芸術文化センター小ホール 3000円 チェロ 西村志保 ピアノ 矢部紀子 ブラームス:チェロ・ソナタ 第2番 ほか ☎06-6417-2216 尼崎市民交響楽団 西村</p>
<p><b>Maria Satomi 春のピアノコンサート</b> 4月17日(金)19時 浪切ホール 3000円 ピアノ 小路里美 メンデルスゾーン:無言歌集 第30番 ほか ☎0736-78-3818 小路清忠ARTISTS CIRCLE</p>
<p><b>ジョイントリサイタル</b> 4月23日(木)19時 みつなかホール 4000円 ピアノ/ソプラノ 牧野恭子 ソプラノ 牧野宏子 ピアノ 富岡潤子 中田喜直:さくら横ちょう ほか ☎06-6843-5921 牧野</p>
<p><b>Spring Concert 花木 Vol.1</b> 4月25日(土)14時 宝塚ベガ・ホール ピアノ 川添衣利 宮城春奈 ソプラノ 土肥彩香 増本有紀子 湯山昭:いいことありそう! ほか ☎090-3720-2037 増城</p>
<p><b>室内合奏団 THE STRINGS 第6回定期公演</b> 4月27日(月)19時 カトリック夙川教会聖堂 前売3000円 当日3500円 学生1500円引 フルート独奏・チェンバロ・指揮 有田正広 コンサートマスター 上川忠昭 モーツァルト:フルート協奏曲 第2番 ほか ☎078-203-8038 THE STRINGS事務局</p>
<p><b>喜多あゆみソプラノ・リサイタル</b> 4月29日(水・祝)15時 姫路キャサバル 3000円 ソプラノ 喜多あゆみ 成本直美 テノール 日高好一 ピアノ 江頭義之 シュトルツ:プラーター公園は花ざかり ほか ☎079-336-1977 喜多</p>
<p><b>OCTAVE 音の告白 Vol.4 南米 東欧</b> 4月29日(水・祝)18時 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール 前売2000円 当日2500円 ピアノ 加藤英雄 齊藤まり子 關口康祐 竹中敦子 前川祥子 三橋祥子 ☎090-9693-3686 OCTAVE</p>
<p><b>キララ☆スプリング・コンサートvol.3</b> 4月30日(木)18時30分 甲東ホール 前売1500円 当日1800円 内山圭介 山川みさき 福井景子 中原由美子 山田愛子 岩本識 蛭川千佳 ☎090-4282-8498 内山</p>
<p><b>～愛と感謝を音でつづる～母の日コンサート</b> 5月10日(日)14時 寝屋川市民会館小ホール 前売1200円 当日1500円 小学生半額 ピアノ 活田真理 ヴァイオリン 武原直子 ソプラノ 原都子 ☎072-823-9870 原</p>
<p><b>バロック音楽の調べ～リコーダーとヴィオラ・ダ・ガンバにのせて～</b> 5月17日(日)14時 キャラリー・リラン 前売1500円 当日2000円 リコーダー 水越美鈴 ヴィオラ・ダ・ガンバ 橋詰玲子 マルチェロ:ソナタ 第12番 へ長調 ほか ☎080-1420-6594 水越</p>
<p><b>田邊織恵ソプラノリサイタル</b> 5月17日(日)14時 高槻現代劇場中ホール 一般2500円 友の会2250円 学生1500円 ソプラノ 田邊織恵 ピアノ 村崎愛 グノー・トレの王～宝石の歌 ☎072-699-0035 高槻市コンサート協会</p>
<p><b>びっくり四重奏!! 古典から現代まで音散歩</b> 5月31日(日)14時 新大阪KOKO PLAZA 前売1500円 当日2000円 星乃加奈 堀口恵理 高橋香名 木下香苗 ☎080-1451-8489</p>

リポーター奥坊由起子(大4)  
私たち学生自主公演団体「Tutti 2009」は5月5日(火)にザ・カレッジ・オペラハウスで喜劇「ジプシー男爵」を催します。  
Tutti 2009の立ち上げメンバーである制作・山崎太郎、演出・山中幸治、舞台監督・川口恵美に話を聞きました。  
――舞台を裏から支える側の魅力、

やりがいは何ですか  
舞台監督は出演者の命を預かる責任の重い仕事。出演者が安全に気持ちよく歌えるようにがんばります(川口)。  
実際には舞台上の全員に僕たちも支えられている気がします。自分の考えた舞台が目の前で形になっていくこと、皆の「絆」が生ま

れることが魅力です(山中)。  
「制作の役目は何だろうか?」「みんなを幸せにすること」が僕の出した答えです(山崎)。  
入場整理券の申し込みは4月20日(月)必着。往復はがき1枚に整理券1人分とさせていただきます。あて先は〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学コンサートセンター

Tutti 「ジプシー男爵」申し込みは4月20日必着

**幸楽会**  
**2009年度 総会**  
4月19日(日)13時 開催  
会場 大阪音楽大学ミレニアムホール  
懇親会 15時 学生食堂「ぼうぜ」  
今年も在学生アンサンブルコンテスト、卒業生最優秀賞受賞者による演奏会など楽しい企画をご用意しております。どうぞご来場ください。  
幸楽会のホームページ <http://www.kougakukai.net/>  
E-mailアドレス [kougaku@daion.ac.jp](mailto:kougaku@daion.ac.jp)



ポピュラーコース・コンサート  
2月5日  
豊中市立ローズ文化ホール



60年代の懐かしいフォークから新世代のジョス・ストーンまで、多様化したポップスを学生がアラカルト・スタイルで演奏しました。ディープ・パープルでは、ギタリストが会場を駆け抜けるハードロックのパフォーマンスに客席は大喜び。荻野祐樹さんのソロ・ギターが幻想的なサウンド

を響かせる「戦場のメリークリスマス」、ヴォーカルと丁丁発止のパーカッションが小気味よい「Conga」などの後、フィナーレは全員で歌う「I believe I can fly」。「私は飛べる、空をつかめる」と歌う今村友美さんのソウルフルなヴォーカルを、コーラスが力強く支えました。



2月26日 ザ・カレッジ・オペラハウス

### ミュージカルコース公演

#### '09ミュージカルへの招待

これまでは豊中市のローズ文化ホールなどを会場にしてきましたが、オペラハウスでは今回が初めて。

プログラムは第1部がダンス・コンサート。モダン・ダンス「タンゴ・ゼロ・アワー」よりとジャズ・ダンス「Song & Dance」より。第2部はL.バーンスタイン作曲のミュージカル「ON

#### 念願の舞台に大張り切り

THE TOWN」より。全11場で演出の太田哲則講師は「以前からオペラハウスでの公演を希望していたのが実現、学生たちも本当に楽しそうでした」と話していました。



## 短大



### ジャズコース・コンサート

2月12日 豊中市立ローズ文化ホール

Big Band、Combo、Big Bandの3部構成で、木村知之、河村直樹両講師らが曲の解説や、演奏者にインタビューし感想を聞いていました。

トップはフレッシュマンクラスのBig Band。ブロードウェイ(Broadway)、フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン(Fly Me To The Moon)など6曲を演奏。

Comboはノー・モア・ブルース(No More Blues)など5曲、マスタークラスのBig Bandは続いてハウ・ハイ・ザ・ムーン(How High The Moon)など6曲をそれぞれ披露しました。



次号発行予定5月27日